

P

宮城学院女子大学

MG発—コミュニケーション情報誌「パルティール」

Partir

VOL.7
2009.4

「Partir (パルティール)」はフランス語で“出発する”
—新しい時代に飛びたとうとする女性たちを支え、励ますために、
宮城学院女子大学から発信するコミュニケーション情報誌です。

巻頭座談会

がく しょく
楽食プロジェクト

楽食プロジェクトメンバー × 宮城学院女子大学学長 吉崎泰博

MG archives

最初の卒業生

1886(明治19)年、仙台にキリスト教教育と女子教育のための私立学校ができました。それが宮城女学校(宮城学院女子大学の前身)です。最初の卒業生は石井とき、宮本むら、関屋ゆき、武田かねの4名。卒業式は1893(明治26)年6月29日でした。

(写真・文 宮城学院資料室)



「宮城女学校第1回卒業生」

巻頭座談会

楽食プロジェクト

楽食プロジェクトメンバー×宮城学院女子大学学長 吉崎泰博

05 シリーズ 思索の森の案内人たち

07 OG INTERVIEW 社会で活躍する卒業生たち

08 在学生の活躍を紹介! Students' Voice

MG Cafe

09 宮学生の特製オリジナル 私たちの健康レシピ

学友会 ニュースMGが行く!

10 Campus topics

Club サークル紹介

Making of partir メイキング オブ(パルティール)

MG フォトエッセイ

楽食プロジェクトメンバー×宮城学院女子大学学長 吉崎泰博

楽食プロジェクト

2008年秋に、学食が「カフェテリアピエリス」としてリニューアルオープンしました。明るくおしゃれな雰囲気と工夫されたメニューで人気を呼んでいます。

これは学生たちが中心となって学食の改善に取り組む「楽食プロジェクト」の成果です。今回は、自分たちの学食を一新させた楽食プロジェクトの皆さんにお話を伺いました。



吉崎学長(以下学長) ピエリスはおしゃれな雰囲気ですごくにぎわっていますね。改装前の学食はどんな印象でしたか？

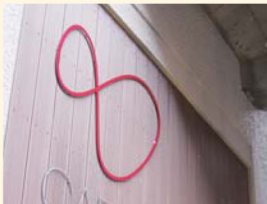
TEEさん(以下TEE) 暗くて寒々しい感じがしました(笑)。

TMさん(以下TM) 正直あまり利用したいとは思わなかったですね。来ている人も学食のメニューを食べている人は少なかつたと思います。

KCさん(以下KC) 卒論で改装前後の利用状況を調査したのですが、以前はお昼のみ利用する人が多かったようですが、今はおしゃべりして過ごすなど利用時間が増えました。

学長 今は「カフェテリア」と呼ぶのにふさわしいイメージですよ。カラフルで明るく「ピエリス」(学名でモンシロチョウの意味)という愛称もぴったりです。

TEE イスの色を



グリーン、青、黄、ピンクなど各学科のイメージカラーになりました。そこに座る学生たちは花畑のチヨウのようなだねという話が出て…。

学長 私も賛成しました。いい名前ですね。

先日、女子美術大学の方がいらっしゃったときに強化磁器の食器やピエリスのマークなどのデザインをとて面白いとほめて下さったんですよ。学生たちがいろんな人に相談し、話し合って決めたといったら感心されました。

TEE マークは微妙な色合いから、位置まで何パターンも考えました。

NMさん(以下NM)

食器の材質は

「本物の食器で食べることも食育の一つ」と、専門の先生からアドバイスを受けました。調理室で働く方には重いかもしいけないけど…。





PROFILE

宮城学院女子大学学長
吉崎 泰博
九州大学文学部卒業。
2002年北九州市立大学
学長、2005年4月より本
学学長。

座談会メンバー

NMさん
食品栄養学科4年
宮城学院高校出身

TMさん
食品栄養学科4年
酒田西高校出身

YMさん
生活文化学科3年
第二女子高校出身

TMさん
生活文化学科3年
泉高校出身

KCさん
生活文化学科4年
泉松陵高校出身

※学生の学年は2009年
3月現在のものです。

楽食(がくしょく)
プロジェクトとは

「学食をもっと美味しく、
もっと楽しく、もっと快
適な空間にしたい!」と、
2007年6月に始動した
本学学生による学食改
善プロジェクト。建築
を学ぶ生活文化学科
(2009年度より生活文
化デザイン学科に名称変
更)と栄養や料理を学ぶ
食品栄養学科の学生を
中心に約50人が、先生方
や業者の方々と話し合
いを重ねながらイスやテ
ーブル、食器のデザイン、
メニューづくりなどに参
加した。

来ませんけど、私も働きかけましょう。
KC あきらめずに、ですね。もっといい学
食になるように、後輩にも期待したいです。
プロジェクトから学んだこと
学長 いろいろな意見が出ましたが、このプ
ロジェクトにかかった感想を伺いたいと
思います。
TE 内定した会社は、社員食堂のメニュー
なども扱う会社なので今回の経験はとて
もためになりました。
NM 学食の業者さんが集まる会議に参
加させてもらったとき、食べる側の私たち



学生に人気のサラダバー

学長 ほかに工夫したところは?
NM 食器を運ぶトレーは温かみのある
木目調にし、食器が滑るのを防ぐため、コー
ティング加工を施しました。
学長 メニューに関してはいかがですか?
サラダバーは人気だそうですね。
TE 以前は揚げ物ばかりのメニューだっ
たので、サラダを中心に好きなものを自由に
取れる形にしました。最後にレジで皿の重さ
を量って料金を計
算します。
NM 在仙の大
学をはじめ、ゼミで
は東京大学、青山学
院大学、慶應義塾大
学などの学食も食
べ歩いたら、サラダ



もっとより良い学食に

学長 リニューアルしてみて、まだ改善する
ところがありますか?
YMさん(以下YM) これからテラスを
作る予定があります。出入口と食器を下げる
下膳口が近いので、中に入る人と出る人で混
雑してしまうのですが、テラスに出入口が出
来ればある程度解消されると思います。
KC 私たちの満足度調査でもそのような
指摘がありました。サラダバーとレジのあた
りも混みます。
NM 他の大学には、レジでプリペイド式
のミールカードを使えるところもありまし
た。一括請求でいつ何を食べたか記録が残る
ものとか…。現金じゃなければレジ周りがス
ムーズになります。
KC 学生アンケートの中には、食品栄養学
科の人たちに新しいメニューをどんどん出
して欲しいという要望もあります。あとサラ
ダバーは摂取カロリーが分かりにくいとい
う声も。
NM いくつかのパターンをサンプルで
表示してみましようか。
TM 厨房にスチームコンベクションを入
れる予定もあります。料理の幅が広がると思
います。
学長 それはどういったものですか?
NM スチームコンベクションは、蒸す、
焼く、煮る、温めるなどを一台でこなす万能
オープンなんです。レストランで出るような



は違った視点の、
それぞれの立場
からのいろいろ
な意見がしまし
た。一つ一つ問
題を解決しなが
ら、話をまとめ
ていく大変さを
感じました。
KC 実は最初
は学食を自分たちで変えることができると
はあまり思っていませんでした。でも変えた
いという気持ちが大切なんですね。これから
もっといい学食になればいいなと思います。
YM 設計について分からないことばかり
でしたが、先輩達が「こうしたい」という思い
を実現していく様子を見て、とても勉強にな
りました。
TM 住宅の勉強はしていましたが、多くの
人が使う場所を考えるのは初めてでした。い
ろいろな視点で考えて設計することが大切
なんだと学びました。
学長 自分から動くことなど大学で勉強す
る際に大切なことを学んだそうですね。皆さ
んのこれからの目標は?



フロアによって照明や配色も変えています

外はバリバリ、中はふっくら料理ができる
んです。
学長 なるほど。楽しみですね(笑)。これか
らの課題も見えてきました。すぐできるこ
ともあるし、設備投資が必要なものもある。
要望はどんどん出した方がいい。一度には出

NM 管理栄養士試験に合格することです。
KC まずは学食リニューアルについての卒
論を完成させたいです。ヨーロッパの教会な
どの建築物を見に行きたいと思っています。
TM 私もいろいろな建築物を自分の目で
しっかり見たいです。あとはサークルでラク
ロスをやっているので来年は全国大会を目
指します。
YM 4年次の卒業設計を社会に役立つも
のにしたいと思います。
TE 私は、就
職で実家に帰る
ので、在学中に
宮城の食を満喫
したいですね。
学長 聖書にも
「求めよ、さらば
与えられん」と
いう言葉があり
ます。一つ一つ努力して自分の夢を叶えて欲
しいと思います。
皆さんが「エリス(モンシロチョウ)」のよ
うに羽ばたいていくのを楽しみにしています。



思索の森林の案内人たち

「学問する」ということは、新しい知識の世界を開く喜びに満ちています。学ぶことは、きつとこれからの人生に輝きを与えてくれるはず——。そんな世界を案内してくれる先生方に、「学びの姿勢」についてお話を伺いました。

音楽を通して人と向き合う

音楽が薬になる音楽療法とは

音楽が「癒やし」「リラクゼーション」のために使われることは知られていますが、音楽療法はそこからさらに踏み込んだ「治療の分野。例えば、自閉症や発達障害のある子ども、認知症の高齢者など、リハビリ効果がある」として研究が進められています。

音楽は現代のような医療技術がない時代から、病気の「お祓い」など呪術的な場面にも使われていました。今の音楽療法の発展の基になっているのは第二次世界大戦後のアメリカで、傷病兵に対して行われたものです。日本では今が

ら10年ほど前に医学系と心理学系の音楽療法の知識を統合し、日本音楽療法学会が発足しました。

日本音楽療法学会の音楽療法士資格は、音楽療法の基本である即興演奏をはじめ、音楽大学で音楽の知識と技術を身に付け、さらに心理学を主とした医学的知識や介護福祉の知識の修得など、多くの実習を経て認定されます。現在、有資格者は1500人くらい。日本の音楽療法は、少しずつ基盤ができてきたという段階ですが、その役割はこれから広く認められていくことと思います。

目の前の相手のための音楽

私が日本音楽療法学会東北支部長を務めていることもあり、2006年、学会の全国研究会を本学で開催しました。ピアノと和太鼓のコラボ演奏など、西洋音楽だけでない日本人のための音楽療法の可能性を探りました。そうした活動から私のまわりでも、音楽療法士の学会認定資格を取得する人が少しずつ増えており、音

楽療法士になりたいという学生も多くなってきました。

音楽療法士は、サービス業。音、音楽を共通項として相手と向き合う仕事であって、病気や障害を持っている人のための音楽です。音楽家として舞台上に立つて、自分の演奏を聴いてもらう音楽とは全く違う。音楽療法は完全にオーダードメイドで、薬の処方箋が一人ひとり違うように、1対1で行われます。技術を持ったプロとして、また人としてのかかわり方も問われます。

「人として」物事をどうとらえるか。これは、音楽療法士でなくても大切なことです。学生たちに言っているのは、表面的にとらえるのではなく、深く考えるということ。例えば、哲学書を読んでも。私自身、高校生のときにプラトンを読み、今でも何年周期かで古代思想や哲学に返って「考える」ということをしています。学生時代に「学ぶ姿勢」を身に付けてほしいと思っています。

※音楽療法士の学会認定資格は同学会による審査に合格する必要があります



音楽療法研究

音楽科
遠藤 安彦教授

学ぶ喜びと希望をわかちあう教育の仕事

スウェーデンをみる、スウェーデンからみる

未来を担う子どもたちにとってどのような教育がなされるかは、社会がどのような方向を向いているのかによっても変わってきます。私は、スウェーデンの義務教育のカリキュラムについて研究していますが、福祉社会として知られるスウェーデンは財政民主主義と住民自治に基づく改革を進めていて、新自由主義経済思想に基づく構造改革を進めている日本やアメリカとは21世紀の社会の有様として異なる回答を示しています。では、そのような社会の方向性の違いは、教育政策やカリキュラムにどのような違いをもたらしているのでしょうか？私の研究は、このような疑問を解明し、異なる立場の国から創造的ヒントを得たい、外から日本の教育を問うてみたいという素朴な思いがきっかけとなっています。

スウェーデンは「共生」「連帯」「平等」を軸に社会づくりをしています。そして、このような社会の方向性を反映させ基礎学校（小・中学校）では1980年から「共生」のための教育を複数教科がつながりながら取り上げるクロ

スカリキュラムとして実現させてきました。学習指導要領や教科書をみてみると、社会科は、「他者との関係」という単元で「障害の概念」を低学年から繰り返し取り上げています。理科は、「目」等の感覚器のしくみを学び、その上で、多様性や類似と差異について考えるよう構成されています。つまり、国が、性別、年齢、人種や障害を超えて連帯し共生することを子どもたちに求めているのです。「多様性や「違い」を概念的に理解することは、他者に対する寛容性を育むことにつながります。そして、それは結果として「いじめ」等の問題に対して授業レベルで取り組んだということにもつながるでしょう。現在は、スウェーデンに学びながら、日本の小学校の先生たちと「いっしょに「目」や「耳」の授業プランを創り、ポトムアップで学びを変えていく」という試みも始めました。

次世代の教育を創造する学生たちへ

教育の仕事は、たくさんの方の可能性を秘めた未来人（子ども）の成長を共に喜びあう、夢と

希望が詰まった仕事だと思っています。教育職を目指す学生には、無批判に教育政策を受け入れるのではなく、現実をしっかりと見て、実践課題を見極める力をつけてもらいたい。あきらめずに新たな教育の創造へと向かっていけるよう大学時代にエネルギーとパッションを蓄えてもらいたいと思っています。

「学び」ということは新たなことと出会い世界を拓くこと、自己や他者を発見すること。力をあわせて困難を乗り越え、育ちあう喜びと楽しさを体験した人は、子どもたちにもそれを伝えたくなるはず。

そういう、協同的な学びをこのキャンパスでMG生たちと創っていきたいです。

PROFILE

教授 戸野塚 厚子

コーヒーを飲みながら、窓の外をながめるのが好き。新幹線で移動する時も、かならず窓側に座ります。車窓からの景色をみていると「アッそうか!?!」とひらめくことがあるから不思議です。筑波大学大学院修士課程修了後、筑波大学文部技官、助手を経て、1993年より本学に。2007年より現職。



● 遠藤先生おすすめの本 ●



「標準 音楽療法入門」

日野原重明 監修
篠田知雄 / 加藤美知子 編集
春秋社 3,360円

上巻が理論編、下巻が実践編として1998年に出版されたこの本は、初心者への啓蒙を図ると共に、現在勉強を続けている人、さらに資格を持って療法を実施している人にも、常に初心に！として薦められる。

● 戸野塚先生おすすめの本 ●



「それでも人生に
イエスと言う」

V.E.フランクル 著
山田邦男 / 松田美佳 訳
春秋社 1,785円

「知性とは肯定へと向かう積極的な資質」と言った人がいます。この本は、教育学に直結する本ではないかもしれませんが、希望と勇気を与えてくれる一冊です。私は、この本を読んで、生きること、学ぶことをあらためて問うてみる機会を得たと思っています。



社会で活躍する卒業生たち

O G I N T E R V I E W

広い視野と
自ら学ぶ姿勢を
身に付けることができました

株式会社トークス
企画・総務部
SEさん



— 大学生生活の一番の思い出は？

高校時代から経済学に興味があったので、経済学の田中史郎先生のゼミで3年間お世話になりました。先生の話が面白くて、授業がなくても研究室に通っていましたね。先生にはいろいろな角度から物事を見る大切さを教えていただきました。

ゼミでは常に「自分はどう思うのか」を問われ、疑問に思ったことは「尋ねる」「調べる」というアクションを自分から起こさないと答えはいつまでも得られず、次に進めない。ひとつの行動でも「何のためにするのか」を突き詰めて考えさせられました。今、社会人として仕事をすすらう上で、大切な姿勢を身に付けることができましたと思います。

— 入社2年目。現在のお仕事は？

経理・労務・総務関係の仕事に携わっています。入社してこれまで、仕事をきちんと覚えることに無我夢中でした。文書の書き方ひとつとっても、周りの人たちに助けられながらこなして来たので、少しでも早く「任せて安心」と信頼される存在になることを目標にしています。

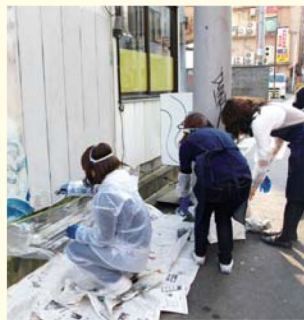
— 大学の先輩たちへのアドバイスは？

学生時代に深く付き合い合った友人は社会人になってからも大切な心の支えになってくれると思います。ぜひ友人と「濃い」時間を過ごして下さい。あとほどこるだけたくさん「学んでおく」こと。必ずためになるし、社会に出ると仕事に追われて、思うように時間が取れないんです。反省も含めて、学生という時間を有効に使って欲しいと思います。

SEさん 2007年 人間文化学科卒

2007年、電気の配電設備・保守保安および交通誘導警備やビル管理などを行う東北電力グループの株式会社トークス（仙台市青葉区中央）に入社。月1回、金曜の夜に東京への夜行バスに飛び乗り、演劇やミュージカルなどを観劇するのが何よりの楽しみ。

落書きを心理学的に調査



意見を出し合って実験の内容を決めたり、業者さんを探して落書き消去の方法を教わったり、研究成果を公表するためのホームページ作成など様々な活動をしてきました。

落書きについて実証的に扱った心理学的研究は今までになかったので、全てが手探りでした。しかし「今までに誰も研究していない」ということは、逆に私たちの意欲をかきたてました。また、活動の一部が、新聞やテレビの取材を受けるなど、社会からの反響が大きいことも、活動を支えた一つの要因だと思います。



このプロジェクトは、私たちが街の美化のために何かをしていこうというより、街の力を借りて心理学を学ばせてもらっているのだと考えています。原稿を書いている時点(2008年12月)ではまだ結果は出ていませんが、私たちの学びが、落書きのない街づくりのために少しでも貢献できれば嬉しいです。



FYさん
心理行動科学科2年
仙台南高校出身

「机の上だけでは心理学は学べない」という学科のモットーを今回のプロジェクトで改めて実感できました。キャンパスから飛び出して活動を行うのは大変なことの連続です。でも、大変なことをみんなで乗り越えた充実感は、これからの人生の役に立つと思います。

東北1位MGラクロス部



「ラクロス」という競技をご存知でしょうか。ラクロスは先端に網のついたスティックを用いてゴム製のボールを奪い合い、これを相手のゴールに入れて得点を競い合うスポーツです。

私たちラクロス部は1992年の創部で、1996年に同好会から正式な部に昇格しました。日々目標に向かって練習に取り組んでいます。特に今年は今まで果たせなかった東北大会優勝を目標にチーム一丸となって戦ってきました。

東北大会に優勝すると、今度は東北・北海道・中四国・九州地区の優勝校が競う四地区大会への出場権が与えられます。実をいうと、ラクロス部は2005年に四地区大会に出場しています。しかしその時は、東北大会の決勝で社会人チームに敗れ、リーグ優勝を逃したままの出場でした。ですから、今年こそは東北大会で優勝し、晴れて四地区大会へ出場したいというのが私たちの念願でした。



予選の段階で一度社会人チームに敗れてしまいました。決勝戦では前半相手チームに1対3とリードされながら、後半の追い上げが功を奏し、逆転優勝することができました。予選で社会人チームに敗れた悔しさがむしるバネになって、その後は普段の練習の成果を存分に発揮できたのではないかと思います。そうして出場したラクロス部初めての四地区大会。残念ながら今回、全日本大会出場はかきませんが、次の目標を四地区大会優勝に置き、さらに全日本大会での勝利をめざして、今日からまたみんなで頑張ってください。応援よろしくお願いします！



YMさん
人間文化学科3年
仙台南高校出身

ラクロス部・部長のYMです。ラクロス部は常に笑いが絶えない部です。笑いもラクロスも深くまで追求し、週4・5日の朝練を中心に活動しています。本気で何かをしてみたい、上を目指したい、ラクロス部では、そんな方を大募集しています。ぜひグラウンドへ見に来てください。

※学生の学年は2009年3月現在のものです。

ふたつの風景

講義館六階の教室の窓から見える校庭、その遙か遠方に連なる泉ヶ岳。色彩のグラデーション、自然と人間それぞれの造形が作り出すコントラスト……。時々、学生を誘って、ベランダに出てみる。皆で、ポーッとしようよ、と。沈黙の

時が流れる。手すりにもたれて、それが自然と対話する……。自分と対話する……。それは祈りの時にも似ている。毎年、八月はアフリカだ。そこはインド洋に浮かぶ小島ザンジバル。アフリカ東海岸にへばりつくように点在するサンゴ礁の島のひとつである。山はない。連なっているのはどこまでも続く海岸線と水平線。隆起したサンゴ礁が水平線の間際まで続いている。

が、そこではじける。手前には、まっ白い砂浜とサンゴ礁……。調査の合間を縫って、ここでも時々ポーッとする。自然に吸い込まれ、ストレスから解放されたような感覚……。

ふたつの風景を往復しながら、二十年という歳月が流れた。その間、校庭の松の木も背丈も伸びた。校舎もいくつか新築されたり増築されたりして、それなりの歴史を刻んでいる。赤レンガの歩道は、去来する多くの学生の花道だ。

外洋から押し寄せる波



一方、ザンジバル島の海岸は、この二十一年で、外資系のホテルで埋め尽くされた。美しい浜辺は占拠され、現地の人々の生活圏が脅かされている。それでも、まっ白い砂浜とサンゴ礁が織りなすシンフォニーは、変わらぬ時を刻んでいる。対照的なふたつの風景。だが、きつとどこかで繋がっている。それを紐解き、考えながら歩んできた二十一年。もうすぐ、泉ヶ岳はやさしい緑におおわれる。チャペルの鐘楼にも春の風が吹き抜け、新入生を迎える季節が、めぐってくる。

写真・文 国際文化学科 富永智津子

編集後記

「パルティール」リニューアル第2号をお届けします。巻頭特集はこれまた2008年9月にリニューアルしたばかりの「カフェテリア ピエリス」。学生・教職員が一緒になって進めたその取り組みは朝日新聞やミヤギテレビ「OH!バンドス」でも紹介されましたが、今年度も厨房および周辺環境の大改修を行います。完成後のピエリスにどうぞご期待ください。さて今年は宮城学院創立123年、大学設置60周年の節目の年に当たります。昨年来の米国発金融不況で私たちの生活も厳しさを増すばかり……。でも、山あれば谷あり。太陽の昇らない明日はありません。宮城学院も過去、幾多の困難を乗り越えてきました。私たちはこれからも夢に向かって頑張る人を応援します。

最後に、今回フォトエッセイを担当された富永先生はこの春めでたく定年を迎えられました。「パルティール」は先生の新たな「旅立ち」を応援しています。最後に、今回フォトエッセイを担当された富永先生はこの春めでたく定年を迎えられました。「パルティール」は先生の新たな「旅立ち」を応援しています。最後にお元気で!(M.F)